

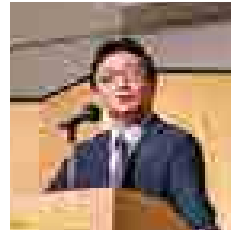
とくしま“あい”ランドNEWS



(公財)とくしま“あい”ランド推進協議会では、ぬくもりと活力ある長寿社会を目指して、生きがいづくり・健康づくり・社会活動に取り組む指導者育成などのためのさまざまな事業を実施し、高齢者の方々に応援しています。

ねんりんピックはばたけ鳥取2024

昨年10月、4日間にわたり鳥取県内4市14町1村を会場に開催された「第36回全国健康福祉祭とつとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取2024）」で、



挨拶をする後藤田正純
徳島県知事

徳島県は22種目の競技に参加し、各選手は全国のシニアと競技での交流を楽しみました。



徳島県知事から県旗を受け取る折野団長

◇スポーツ交流大会

卓球、テニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、マラソン、弓道、剣道の9種目に参加しました。

◇ふれあいスポーツ交流大会

水泳、グラウンド・ゴルフ、ボウリング、サッカー、ソフトバレーボール、ウォークラリー、バウンドテニス、ダンススポーツ、バウンスポールの9種目に参加しました。

◇文化交流大会

将棋、民謡、健康マージャン、eスポーツの4種目に参加しました。

◇美術展

全国から選ばれた日本画・洋画の2部門が境港市民交流センター・みなとテラス（境港市）で、彫刻・工芸・書・写真の4部門の作品が倉吉博物館（倉吉市）で展示され、徳島県からは同6部門合わせて12点の作品を出品しました。

次回、2025年には、第37回大会が岐阜県で開催されます。



☆結団式

「第36回全国健康福祉祭とつとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取2024）」に参加する徳島県選手団（折野好信団長、148人）の結団式は、昨年10月18日、グランヴィリオホテル（徳島市万代町3）で行われ、競技ごとに選手が紹介された後、後藤田正純徳島県知事から（公財）とくしま“あい”ランド推進協議会理事長の折野好信団長に県旗が手渡されました。

知事の激励に、選手を代表してマラソンの松浦昭雄さん（82歳）＝藍住町＝が「日頃の成果を発揮し頑張ります」などと決意を述べました。



決意を述べる
松浦昭雄さん

第36回全国健康福祉祭とっとり大会
徳島県選手団競技結果一覧
令和6年10月19日(土)～10月22日(火)

👑 団体入賞 👑

[サッカー]
徳島カバロスシニア
○グループF 2勝1敗
【4チーム中2位】



[ウォークラリー]
阿波のキケポーズ
○白壁コース優勝/22チーム
399得点



[バウンドテニス]
すだち～の
○チーム別対抗 BT ラリー戦
6位/24チーム 合計112点



[健康マージャン]
すだち
○団体戦 3位/69チーム
144.0ポイント



👑 個人入賞 👑

[グラウンド・ゴルフ]
徳島県 女性の部
八田加津子(写真、向かって左)
○2位/142名 スコア54



[健康マージャン]
すだち 白「甘酒」ブロック
橋本 浩伸
○7位/68名 44.9ポイント



👑 最高齢者賞等 👑

[ゲートボール] 高齢者賞 富永 孝子(女) 92歳
[ウォークラリー] 高齢者賞 佐野 隆夫(男) 83歳
[バウンスポール] 高齢者賞 橋本 典子(女) 77歳
[将棋] 高齢者賞 大塚 太高(男) 89歳
[eスポーツ] 【最高齢者賞】 音澤 興夫(男) 83歳



👑 美術展入賞 👑

[工芸] 厚生労働大臣賞 平瀬 進也 水を汲む少女
[洋画] 銅賞 今井 雅省 希望
[書] 銅賞 住友 春子

①ほととぎす ②あしびきの ③ゆらのとを ④くさふかき ⑤ながめわび



◆第30回徳島県健康福祉祭

祭（2024とくしまねりんピック）

第30回徳島県健康福祉祭（2024とくしまねりんピック）＝徳島県・（公財）とくしま“あい”ランド推進協議会主催が、昨年9月から11月までの間、30日にわたり順次開催されました。

県内各地のシニアの皆さんが、東部大会、西部サテライト大会、南部サテライト大会のそれぞれに集い、24種目のスポーツ競技と4種目（囲碁、将棋、かるた、健康マージャン）の文化交流大会で個人やグループの技を競うなどして交流を図りました。

また、美術展は11月30日と翌12月1日の2日間、あわぎんホール（徳島市藍場町）で開催されました。期間中、絵画、書道など5部門の出品作品86点が披露され、美術展最終日には知事賞など同展入賞者34人の表彰式がありました。

知事賞は次の皆さんです。

日本画・西田江美／洋画・今井雅省／陶芸・平瀬進也／手工芸・吉村喬子／書・宮崎桂子／写真・佐々木英治



第30回徳島県健康福祉祭 美術展入賞者の皆さん

◆「小学生の作文・小学生の絵」の入賞者決まる

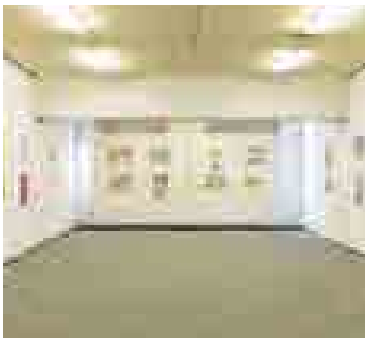
（公財）とくしま“あい”ランド推進協議会は徳島県内の小学生を対象にした長寿社会啓発のための第30回徳島県健康福祉祭「小学生の作文・小学生の絵」最終審査会を昨年10月24日、徳島県立総合福祉センター（徳島市中昭和町）で行いました。

今回の応募作品は作文が

37校384点、絵は31校92点でした。審査の結果、作文、絵とも各2点の優秀賞と、佳作各8点が選ばれました。

なお、11月30日と翌12月1日の2日間、あわぎんホール（徳島市藍場町）で開催された「小学生の作文・小学生の絵展」では優秀賞2点、佳作8点の作文と、優秀賞2点、佳作8点を含む絵92点が展示され、優秀賞4人の表彰式も行われました。

優秀賞は次の皆さんです。
【作文】▽青木翔環（あおきとわ 徳島市・昭和小学校4年）「どんな時代でも変えたくない事」▽南馬越綸太（みなみまごえ かんた 徳島市・佐古小学校6年）「じ



「小学生の作文・小学生の絵」展示風景

いちゃんのみそ汁」

【絵】▽山田ひかり（やまだ徳島市・富田小学校1年）「いつまでもげんきに」▽尾崎めい（おざき 吉野川市・川島小学校4年）「ずっとおいしいごはんを食べよう」

優秀賞の作品は、本誌『いのち輝く』夏号（5月15日発行）と秋号（9月15日発行）で順次紹介します。

◆敬老県民のつどい

地域で共にいきいき輝くとくしまの実現を目指して「第54回徳島県敬老県民のつどい」（徳島県・徳島県老人クラブ連合会・（公財）とくしま“あい”ランド推進協議会主催）が昨年9月4日、あわぎんホール（徳島市藍場町）で開かれ、



挨拶をする大会長の後藤田正純 徳島県知事

高齢者福祉向上に貢献してきた高齢者福祉功労者18人、在宅介護を行っている在宅介護功労者10人、施設・団体関係功労者10人がそれぞれ県知事表彰されました。

また、日頃、高齢者宅を戸別訪問し、地域の絆づくりに貢献している老人クラブの友愛訪問員6人が県知事表彰されたほか、42人の友愛訪問員に県知事感謝状が贈られました。

その後、県内で米寿を迎えた5300人の皆さんを代表し、小松島市の島原勇雄さんに米寿敬老記念品が贈られました。

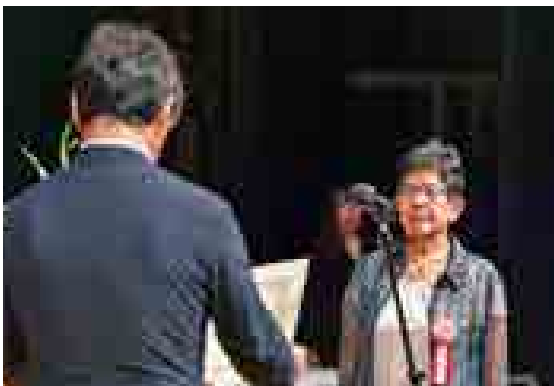
続いて、22団体、41人が県老連会長表彰され、5団



後藤田徳島県知事から米寿敬老記念品を受ける島原勇雄さん

体が全老連「活動賞」、3人が四国4県連合会協議会表彰されました。
午後からは高齢者芸能大会が開催され、県内各地の

老人クラブ連合会有志や徳島県シルバー大学校OB生など25組が歌や踊りを披露し、和やかなひとときを過ごしました。



後藤田徳島県知事から表彰を受ける代表者



高齢者芸能大会で元気に踊りを披露するシルバー大学校OB生

ならいま専科

まんが：A2Cエーツーシー



挨拶をする折野好信副校長

徳島県シルバー大学校

◆第42期シルバー大学校 合同講義開催

徳島県シルバー大学校で学ぶ県内各地区9校の学生と、徳島県活き活きシニア放送講座を受講している皆さんが一堂に会し、学習と親睦を図る徳島県シルバー大学校合同講義・徳島県活

き活きシニア放送講座スクリーニングが昨年11月12日（徳島市藍場町）で開催され、約400人が参加しました。午前中は四国大学短期大学部ビジネス・コミュニケーション科教授の加渡いづみさんが「人生後半戦がおもしろい！〜無敵シニアと人口減少社会の未来予想図〜」と題し、今までの当たり前が当たり前でなくなるこれからの時代にはシニアが新しい当たり前をつくること

などについて講義。午後は（株）エアトラベル徳島顧客戦略室マネージャーのモートン常慈さんが「世界に注目されている四国遍路 大正時代から現在まで」と題し、徳島に骨を埋めた文豪モラエスが見た四国遍路や、シカゴ大学の教授やドイツ人捕虜の視点など、多くの写真を示しながら西洋人から見た四国遍路の変遷を分かりやすく講義。学生の皆さんは両講義に熱心に耳を傾けていました。



モートン常慈さん



加渡いづみさん



合同講義受講風景